

アイコム IC-5030 WITHCALL PRO[®]のご使用になる前に

同時通話型特定小電力トランシーバー

IC-5030 WITHCALL PRO[®]

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード

https://www.icom.co.jp/support/



アイコム、ICOM、ICOMロゴ、WITHCALL、WITHCALL PROロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
アイコム株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7885W-1J-1 Printed in Japan
202608 © 2026 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール : support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ : https://www.icom.co.jp/

防塵/防水性能維持の定期点検と保守

バッテリーパック、保護カバー(USBポート、9ピンコネクター)を正しく取り付けた状態でIP67の防塵/防水性能があります。
保証期間については、保証書をご覧ください。この防水性能を維持するためにも、保証期間経過後は定期点検(年1回)の実施をおすすめします。
また、防塵/防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。
定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電機器)

△危険

- ◎ 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。
 - 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
 - 指定以外の充電機器を使用しないでください。
 - 充電端子間をショートさせないでください。

△警告

- ◎ 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- ◎ 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電、けがの原因になります。
- ◎ 電子レンジや高压釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

△注意

- ◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- ◎ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ -10℃～+50℃以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

△警告

- ◎ アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎ 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
- ◎ 電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎ 民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

△注意

- ◎ アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- ◎ 付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。

■ 充電機器

△警告

- 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 充電機器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△注意

- 次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
- 10℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

△危険

- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- ◎ バッテリーパックを落下させたり、投げ付けたりして、強い衝撃を与えないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

△警告

- ◎ 使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- ◎ 指定の充電時間以上、充電しないでください。
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎ テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

△注意

- 次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、 (残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月 : -20～+45℃ 約3ヵ月 : -20～+35℃
約1年 : -20～+25℃
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命について

- ◎ バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
- ◎ 発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。
- ◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- ◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
- ◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの膨張について

下記のような環境や条件で使用をつづけるとバッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

- ◎ 頻繁に充電している
- ◎ 満充電直後でも再充電している
- ◎ 高温な場所で使用・保管している
- ◎ 本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命です。使用を中止し、新しいものと交換してください。

使用後はリサイクルへ

**Li-ion**

この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

アルカリ電池ケースについて

単3形アルカリ乾電池専用のアルカリ電池ケース(別売品:BP-318)をご使用になる場合は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器
◎LED照明器具 ◎電磁調理器 ◎給湯器
◎自動車に搭載された電子機器 ◎太陽光発電装置

電波法上のご注意

- ◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎使用できるのは、日本国内に限られています。

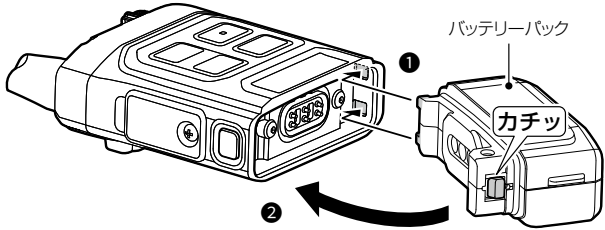
付属品

- ☐ バッテリーパック(BP-319) ☐ ハードケース(LC-160) ☐ 保護カバー
☐ ご使用になる前に(本書) ☐ 保証書

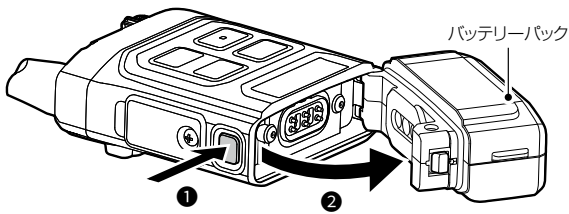
■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。

取り付けかた

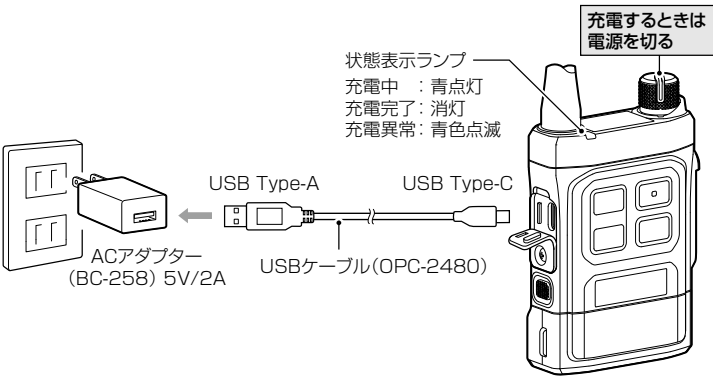


取りはずしかた



充電のしかた

ご購入後、はじめて、ご使用になるときは、必ずバッテリーパックを充電してください。



■ 運用時間と充電時間

容量 : 2200mAh min.(2350mAh typ.)
運用時間 : 約16時間30分*(送信出力1mW時)
★2者同時通話(復信)モード時

充電時間 : 約3時間30分*(BC-258(USB充電)使用時)
約2時間10分*(BC-275(BC-216)使用時)
★周囲温度25℃

別売品

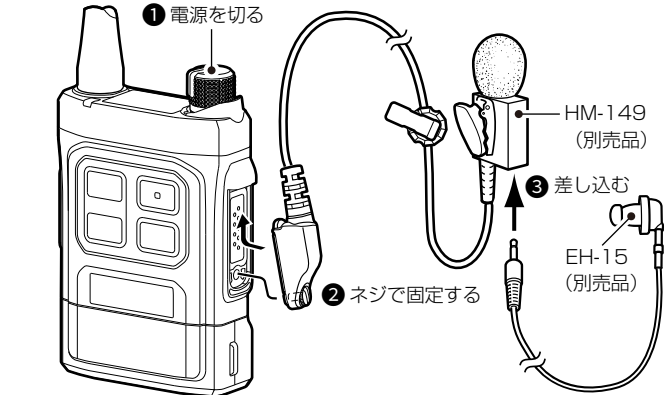
本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。

※別売品については、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

マイクロホンとイヤホンの取り付け

取り付けしていない状態では、通話できません。

【取り付け例：HM-149+EH-15】



△警告

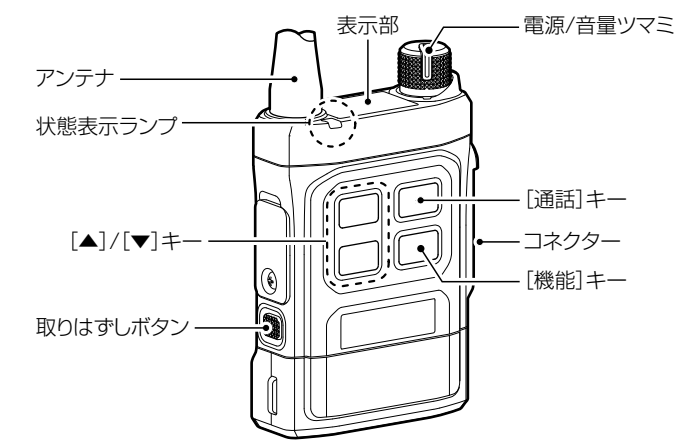
下記の事項を守らないと、聴力障害の原因になります。

- ◎ コネクターの取り付けや取りはずしをするときは、大きな異音が出ることがあります。電源を切ってから、取り付けや取りはずしをしてください。また、イヤホンは耳からはずしてください。
- ◎ 本製品の音量は最小にしておき、イヤホンなどを耳に当ててから、聞きやすい音量に調整してください。

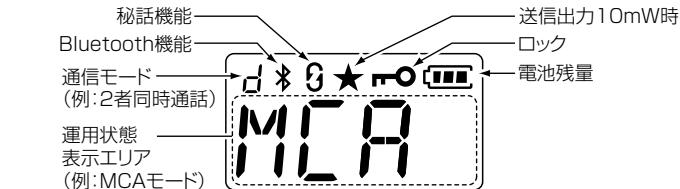
保護カバーについて

Bluetoothヘッドセットなどを使用して通話するときは、付属品の保護カバーをコネクターに取り付けてください。

各部の名称



■ 表示部



ロック機能について

[機能]を長く(約1秒)押すと、「ビッ、ビビッ」と鳴って、「」が表示されます。※同じ操作をすると、ロックが解除され、[▲]/[▼]と[機能]が操作できます。

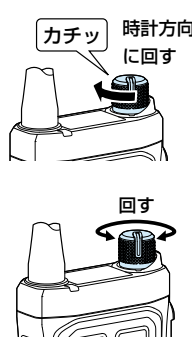
■ バッテリーパックの残量表示

- : 十分に容量がある状態
 - : 短時間の運用はできる状態
 - : 充電が必要な状態
 - : ほとんど容量がない状態
- ※表示が点滅し、残量警告音が鳴ります。

電源の入れかたと音量調整

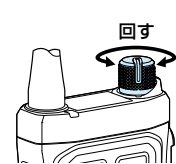
1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、「ピー」と鳴り、電源が入ります。
※電源を切るときは、反時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。



2. 音量を調整する

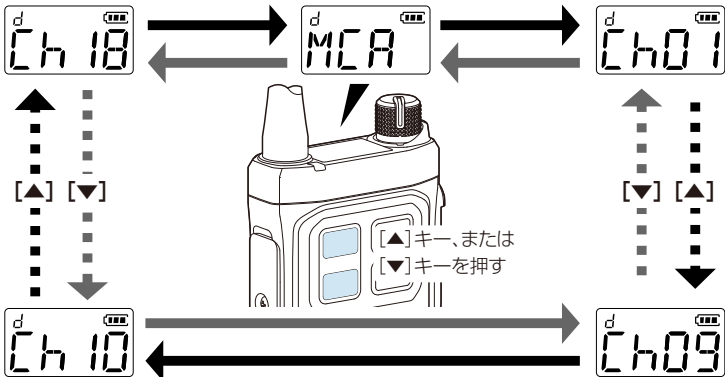
電源/音量ツマミを回して、コネクターに接続されたイヤホンから相手の声が聞こえる音量に調整します。



通話操作

■ チャンネルの切り替え

[▲]/[▼]を繰り返し押します。

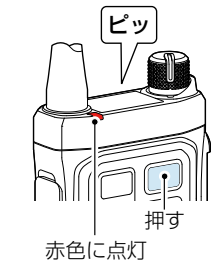


MCAチャンネルについて

空きチャンネルを自動的に探し出し、Ch01～Ch18のどれかに自動選択されます。

■ 呼び出しかた

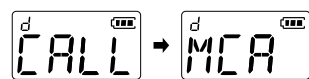
[通話]、または接続したマイクロホンのスイッチを押して、マイクに向かって呼びかけます。
• 呼び出し中は状態表示ランプが橙色に点滅し、つながると赤色に点灯します。
• つながらないときは、状態表示ランプが消灯します。



■ 応答のしかた

接続したイヤホンやスピーカーから相手の声が聞こえてきたときは、[通話]、または接続したマイクロホンのスイッチを押して、マイクに向かって話しかけます。
• 呼び出しを受ける(受信する)と、状態表示ランプが緑色に点灯します。
• 応答すると、状態表示ランプが赤色に点灯します。

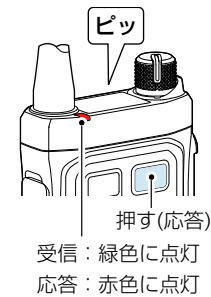
呼び出しを受けたとき(例: MCA)



■ 通話の切りかた

呼び出した局が、[通話]を押します。

- 通話が切れると、状態表示ランプが消灯します。



通話したい相手のグループ番号の変更について

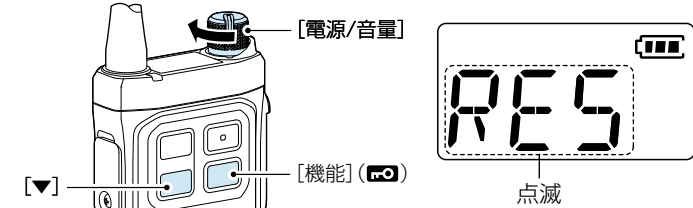
すでに運用している従来製品などのグループと通話する場合、本製品のグループ番号と異なる場合は、通話できません。

※グループ呼び出しの設定がされていない場合など、自局と異なるグループ番号の選択には設定が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

リセットのしかた

1. リセットモードに移行する

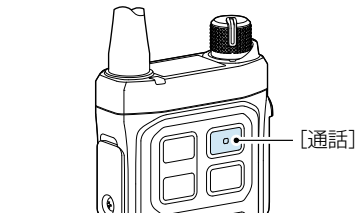
電源を切った状態で、[▼]と[機能]を押しながら電源を入れます。
※リセットできる状態になり、「RES」が表示されます。



2. リセットする

[通話]を押してリセットします。

※「ビビッ」と鳴り、「RES」を表示後、再起動されます。



ご注意

リセット操作をする前に、お買い上げの販売店にご相談ください。
リセットすると、設定内容によっては、お使いの環境で通話できなくなることがあります。

親機側の周波数一覧表(2者同時通話)

チャンネル	受信周波数	送信周波数	チャンネル	受信周波数	送信周波数
Ch01	440.0250	421.5750	Ch15	440.2000	421.7500
Ch02	440.0375	421.5875	Ch16	440.2125	421.7625
Ch03	440.0500	421.6000	Ch17	440.2250	421.7750
Ch04	440.0625	421.6125	Ch18	440.2375	421.7875
Ch05	440.0750	421.6250	Ch19	440.2625	421.8125
Ch06	440.0875	421.6375	Ch20	440.2750	421.8250
Ch07	440.1000	421.6500	Ch21	440.2875	421.8375
Ch08	440.1125	421.6625	Ch22	440.3000	421.8500
Ch09	440.1250	421.6750	Ch23	440.3125	421.8625
Ch10	440.1375	421.6875	Ch24	440.3250	421.8750
Ch11	440.1500	421.7000	Ch25	440.3375	421.8875
Ch12	440.1625	421.7125	Ch26	440.3500	421.9000
Ch13	440.1750	421.7250	Ch27	440.3625	421.9125
Ch14	440.1875	421.7375			

(単位: MHz)

子機側の周波数一覧表(2者同時通話)

チャンネル	受信周波数	送信周波数	チャンネル	受信周波数	送信周波数
Ch01	421.5750	440.0250	Ch15	421.7500	440.2000
Ch02	421.5875	440.0375	Ch16	421.7625	440.2125
Ch03	421.6000	440.0500	Ch17	421.7750	440.2250
Ch04	421.6125	440.0625	Ch18	421.7875	440.2375
Ch05	421.6250	440.0750	Ch19	421.8125	440.2625
Ch06	421.6375	440.0875	Ch20	421.8250	440.2750
Ch07	421.6500	440.1000	Ch21	421.8375	440.2875
Ch08	421.6625	440.1125	Ch22	421.8500	440.3000
Ch09	421.6750	440.1250	Ch23	421.8625	440.3125
Ch10	421.6875	440.1375	Ch24	421.8750	440.3250
Ch11	421.7000	440.1500	Ch25	421.8875	440.3375
Ch12	421.7125	440.1625	Ch26	421.9000	440.3500
Ch13	421.7250	440.1750	Ch27	421.9125	440.3625
Ch14	421.7375	440.1875			

(単位: MHz)